

令和6年度

社会福祉法人

慈 福 会

事 業 報 告 書

令和7年5月

目 次

☞成南地域在宅サービスステーション「めぐみ」

成南地域総合相談窓口「めぐみ」・・・・・・・・・・ 1～3

居宅介護支援事業「めぐみ」・・・・・・・・・・ 4～5

デイサービスセンター「めぐみ」・・・・・・・・・・ 6～9

グループホーム「めぐみ苑」・・・・・・・・・・ 10～14

ヘルパーステーション「いこい」・・・ 15～17

☞天下茶屋地域在宅サービスステーション「のぞみ」

天下茶屋地域総合相談窓口「のぞみ」・・・ 18～19

居宅介護支援事業「のぞみ」・・・・・・・・・・ 20～23

デイサービスセンター「のぞみ」・・・・・・・・・・ 24～26

事務局事務報告・・・・・・・・・・ 27～28

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 慈福会 めぐみ
成南地域 総合相談窓口（ランチ）

1 成南地域総合相談窓口（ランチ）専任職員

南部 順一（令和 6 年 4 月 ～ 令和 7 年 3 月）

2 年間活動実績

相談件数 1047 件（訪問：749 電話：230 来所：68 ）

年度実人員 248 名

会議参加 104 件

外部研修 7 件

3 主催事業

- | | | |
|------------|---------|-------------|
| ・めぐみ喫茶 | 毎月第3金曜日 | 13:00～14:30 |
| ・百歳体操と健康教室 | 毎月月曜日 | 13:00～14:30 |
| ・思い出教室 | 毎月第2火曜日 | 13:50～15:00 |

4 相談業務内容

総合相談業務

【専門的継続的相談支援】

- ① 家族及び地域住民からの相談。認知症状があり、病院受診拒否、介護保険サービス拒否というケースが増加。訪問を通して地域の行事を紹介し、住民及び民生委員の方々の協力を得ながら、「百歳体操&健康教室」「喫茶」「歌謡教室」への周知活動訪問及び体験参加を提案。ランチ職員一人では地域行事参加にはならなかったケースが、地域住民の同行や声かけにより、参加となったケースがある。
- ② 郵便局からの相談が増加。一日に何度も「通帳をなくした・お金がなくなった」という訴えのケースでは、郵便局・大家・民生委員・オレンジチーム・地域包括支援センターと連携し、成年後見制度専門職派遣・地域ケア会議・認知症診断受診・介護保険サービス利用と各専門職が役割を持って支援し、介護保険サービス利用にまで達成。

【介護予防高齢者の把握と支援】

・地域行事に参加し、地域住民との交流だけでなく、運営スタッフとも交流を図った。欠席が続いている高齢者や身体機能の低下及び認知機能の低下が懸念される地域住民の情報収集を図り、地域住民の協力を得ながら、初回訪問及び支援体制を構築した。

【認知症高齢者の支援体制の構築】

・現在、商店街周辺で商売をしてきた住民が後期高齢を迎えている状況。国民年金が中心で介護保険サービス利用に躊躇する高齢者も多いことが判明。また、一軒家の独居高齢者も多く、認知症になりやすい環境が存在。住み慣れた地域で長く暮らせるように、認知症になっても地域で暮らせるような取りくみの一環として「想い出教室」を開催。認知症状のある方でも楽しめ、音楽療法や回想法を取り入れ、認知症予防の拠点機能を構築。また、歌を歌うことで、嚥下機能の改善と維持を図った。アウトリーチによる周知活動を通して、新たな地域高齢者との交流が実現。それによって、相談件数も増加した。

実態把握業務

【実態把握後の状況】

（見守り訪問・定期訪問）

・地域行事の案内によって、訪問がしやすい状況。地域行事には参加しないが、ランチ職員との会話には拒否なく応じる高齢者が一定数存在。

【地域との関係づくり】

（百歳体操）

・介護予防の観点で百歳体操と健康教室を継続。最大17名しか参加できない状況。現在2クラス月2回で運営。西成区役所市民協働課に千本北福祉会館での地域活動協議会による百歳体操運営を相談するが、高齢分野だけに毎週予算は出せないと回答受理。

（めぐみ喫茶）

・地域住民の電話かけや声かけによって認知症高齢者の参加が継続。
・地域住民との交流を通して、地域の情報収集及び地域の現状把握に努めた。

（想い出教室）

・生演奏で昭和の歌謡曲を唱歌。嚥下機能の維持と改善を図った。（口腔リハビリ）
・音楽療法と回想法で脳の活性化を図った。（脳のリハビリ）
・認知症状のある高齢者の居場所作りと活動拠点形成を図った。地域住民の認知症の理解不足という問題点が判明。バンドメンバーの連合会長及び地域活動協議会会長と共に、「認知症サポーター養成講座」「ステップアップ講座」を受講。今後はチームオレンジとして、活動していく基盤を形成した。
・認知症高齢者の対応として千本行事カレンダーを企画制作実施。来年度より評価予定。

権利擁護業務

【成年後見制度に関する実施状況】

- ① 令和5年から支援継続している夫婦（夫は施設・妻は在宅・子供なし）において、夫の成年後見制度申請及び利用が達成。妻も市長申し立てによる後見人が選任された。
- ② 成年後見制度利用における専門職派遣まで支援できたケースが2件ある。1件は本人途中で「お金がない」と言って利用中止となる。2件目は地域住民の賛否両論に本人が混乱。急遽休止となったが、地域住民によれば本人後悔しているとの情報あり。

【虐待に関する実施状況】

- ① 2月サービス利用調整会議に参加。地域住民・民生委員からの情報収集を実施中。

- ② 周知活動として、百歳体操・喫茶で高齢者虐待情報冊子を配布。相談機関を紹介。

主催事業

【百歳体操 & 健康教室】 ★予約制 (変更あり)

日時 月曜日 13:00~14:30 組分けによる月2回の参加

場所 社会福祉法人 慈福会めぐみ 3階会議室

内容 百歳体操 リハビリ体操 脳トレ体操 レクリエーション

対象 千本地域住民及び周辺地域住民

体制 講師(理学療法士) ボランティア ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会・運動する機会・交流の場の提供
- ② 健康教室によるリハビリ体操・脳トレ体操・レクリエーション
- ③ 自宅でできるリハビリ体操・脳トレ体操を紹介し継続を図る

【めぐみ喫茶】

日時 毎月第3金曜日 13:00~14:30

場所 社会福祉法人 慈福会 めぐみ 3階会議室

内容 飲み物とおやつの提供

対象 千本地域住民及び周辺地域住民

体制 ボランティア 社会福祉法人慈福会めぐみ職員 ブランチ職員

目的

- ① 地域住民に外出する機会、交流する場の提供
- ② 総合相談窓口(ブランチ)の周知活動及び地域高齢者の現状把握
- ③ 認知症・精神疾患・閉じこもり等、複合的な困難をかかえた高齢者及び家族に参加をよびかけ、喫茶参加者と共に生活支援体制を構築する

【想い出教室】

日時 毎月第2火曜日 13:30~15:00

場所 千本北 福社会館

内容 生演奏による昭和歌謡の歌唱

対象 千本地域住民及び周辺地域住民

体制 地域住民 地域活動協議会 民生委員 介護事業所 ブランチ職員

目的

- ① 嚥下機能の改善と維持による口喉のリハビリ
- ② 音楽療法と回想法による記憶のリハビリ
- ③ 認知症状のある地域住民の居場所作りと活動拠点作り

➤ 居宅介護支援事業 めぐみ 令和 6 年度 事業報告

(1) 職員及び担当件数状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

介護支援専門員（1 名）		
職員名	重田 昌也	
介護給付（件）	3 2 件	件
予防給付（件）	1 5 件	件

- ・介護支援専門員体制 1 名（常勤・兼務 1 名、常勤・専従 名）
重田 昌也（居宅管理者兼介護支援専門員）

(2) 職員外部研修受講状況

令和 6 年度

日 時	研 修 内 容	出 席 者
令和 6 年 7 月 9 日	「認知症の人への虐待を防止するため」	重田 昌也
令和 6 年 12 月 3 日	「感染対策の基本と実践 感染対策の悩みを解決しよう！」	重田 昌也
令和 7 年 2 月 13 日	「災害時に向けた BCP の確認と在宅利用者の安全確保」と「大阪市における個別避難計画他について」	重田 昌也

(3) 各連絡会・勉強会参加状況

令和 6 年度は上記の研修と主任介護支援専門員更新研修に参加のため連絡会・勉強会には参加することが出来ず。

(4) 指導及び監査等

日 時	内 容	出席者名
令和 6 年 ※ 8 月 31 日	大阪集団指導	重田 昌也

※ 大阪市福祉局の公式 Y o u T u b e 視聴とアンケート報告で集団指導への参加となる。

(5) 介護サービス情報の公表 (令和 5 年度分)

令和 6 年度 報告のみ (令和 6 年 12 月 17 日 提出)

(6) 特定事業所集中減算状況

※ 特定事業所集中減算については、紹介率が 80%を超えると減算の対象になるが、令和 6 年度前期・後期ともに減算対象になることはなかった。

(7) 居宅介護支援介護給付費月次推移表

年・月	介 護 給 付		予 防 給 付	
	件	円	件	円
令和 6 年 4 月	30 件	398,053 円	14 件	60,550 円
令和 6 年 5 月	29 件	386,344 円	14 件	60,550 円
令和 6 年 6 月	27 件	354,964 円	14 件	60,550 円
令和 6 年 7 月	27 件	354,686 円	14 件	64,787 円
令和 6 年 8 月	28 件	367,040 円	14 件	60,550 円
令和 6 年 9 月	27 件	354,964 円	14 件	60,550 円
令和 6 年 10 月	25 件	330,812 円	13 件	56,225 円
令和 6 年 11 月	32 件	436,750 円	13 件	60,462 円
令和 6 年 12 月	28 件	377,882 円	13 件	60,462 円
令和 7 年 1 月	28 件	384,832 円	13 件	60,462 円
令和 7 年 2 月	24 件	329,578 円	13 件	56,225 円
令和 7 年 3 月	24 件	329,578 円	15 件	69,112 円
計	329 件	4,405,483 円	164 件	730,485 円

(8) まとめ

- ・令和 6 年度も介護支援専門員 1 名体制のままでの運営となった。
早急に介護支援専門員 2 名体制での運営ができるように努めていきたい。
- ・令和 6 年度も行政や地域包括、医療機関、サービス事業所や地域の各種団体等と連携や協力を図りながら適正な事業運営を行なってきた。
令和 7 年度も引き続き、行政や地域包括、医療機関、サービス事業所や地域の各種団体と連携を図りながら、適正な事業運営ができるように努めていきたい。

▶ デイサービスセンター めぐみ 令和6年度 事業報告書

(1) 令和6年度 年間目標と評価

目 標	評 価
利用者の確保	祝日や私用での休みは早めに確認し、振替利用につなげる事が出来ていた。営業活動に出る機会を確保できなかった。職員数を確保し、利用者が増えても対応できるようにしたい。
感染症対策	昨年度と対策は基本的に変えておらず、利用者や家族に陽性者が出て他者や職員が2次感染することはなかった。共用部分も含め、今後も基本を続けていきたい。
職員の質の向上	研修に参加する機会を確保できたが、日頃の業務にはあまり反映できていない。職員間での利用者の情報共有は意識できていた。体調管理も意識できていた。
機能訓練の見直し	個別に声掛けするなどで参加される方が増えてきている。一方で全く意欲の無い方もいるので、さらに工夫が必要だと思われる。
行事・レクリエーションの見直し	行事は特別感がなく、レクリエーションの延長のようになりつつある。もう少しメリハリをつけ、月に1度の楽しみになるよう盛り上げたい。 レクリエーションも皆で参加できるように考えていきたい。

(2) デイサービス利用者月次推移状況

月・ 要介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成 比(%)
要支1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	10	0.2
要支2	25	26	25	27	26	23	23	18	16	16	16	18	259	6.0
要介1	53	53	49	58	65	63	68	58	58	59	52	68	704	16.3
要介2	42	46	48	57	45	50	57	68	65	62	60	65	665	15.4
要介3	86	83	85	54	72	60	73	83	85	87	87	84	939	21.9
要介4	52	57	61	64	64	75	82	94	83	70	55	67	824	19.1
要介5	58	66	59	92	100	63	72	72	81	86	69	71	889	20.6
おためし	0	2	4	1	2	2	0	3	0	2	1	3	20	0.5
延 数	316	333	331	353	374	336	375	396	388	384	344	380	4310	100.0
日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293	
月平均	12.6	13.9	13.2	13.6	14.4	14.6	14.04	16.5	16.2	16.7	15.6	15.2	14.7	

(3) 行事实施状況

月	行事内容	内 容 と 評 価	費用(円)	担当
4 月	お花見	桜の木の下で写真撮影を行う。天候も良く、好評だった。	0 円	稲福
5 月	鯉のぼり釣り	端午の節句にちなみ、鯉のぼり釣りをする。おやつにどら焼きを提供した。	1,799 円	川合
6 月	喫茶会	わらび餅風豆腐スイーツを提供。ゲームを楽しんで頂いた。初めての試みだが好評だった。	1,027 円	植野
7 月	わらび餅	定番の手作りわらび餅を提供。夏らしくガラスの器で提供し喫茶店みたいと好評だった。	1,899 円	川合
8 月	たこ焼き	たこ焼きを利用者の前で焼き、焼きたてを提供する。普段小食の方もかわりされ大好評だった。	4,229 円	稲福
9 月	敬老会	おやつとプレゼントを提供。歌声喫茶を行い、皆で懐かしい歌を歌った。声を出す機会にもなり、普段あまり話さない方も他者と交流する機会になった。	4,732 円	川合
10 月	運動会	体を動かす機会を持っていただく。秋らしいおやつを提供。	2,233 円	関谷
11 月	ベビーカステラ	たこ焼き機を使い、祭りの屋台で売っているようなベビーカステラを焼きたてで提供する。たこ焼きと勘違いされる方もいたが、喜んで頂けた。	3,433 円	川合
12 月	クリスマス会	小さなケーキとプレゼントを提供、写真撮影も行う。毎年同じ内容になっているので、新しい試みも検討したい。	5,466 円	稲福
1 月	足湯	寒い冬に足を温め、マッサージする。体まで温かくなると好評。ケーキと温かい飲み物を提供した。	2,575 円	川合
2 月	ぜんざい	手作りのぜんざいを提供する。定番の行事となっており、楽しみにされている方も多い。	4,998 円	関谷
3 月	ひな祭り	ひな人形と写真撮影をし、春らしい手作りおやつを提供した。冷たくて美味しいと好評だった。	2,848 円	糸洲
計		(予算：¥ 45,500 円)	¥ 35,239 円	

(4) 介護報酬・行事費・おやつ代月次推移表

月	介護報酬(万円)	行事費用 (円)	おやつ代(円)
4 月	2,836,213 円	0 円	0 円
5 月	2,906,815 円	1,799 円	5,039 円
6 月	2,887,166 円	1,027 円	0 円
7 月	3,052,974 円	1,899 円	4,312 円
8 月	3,446,942 円	4,229 円	4,234 円
9 月	2,677,473 円	4,732 円	0 円
10 月	3,375,570 円	2,233 円	4,873 円
11 月	3,464,255 円	3,433 円	7,983 円
12 月	3,304,450 円	5,466 円	835 円
1 月	3,569,529 円	2,575 円	0 円
2 月	3,265,578 円	4,998 円	7,629 円
3 月	3,240,002 円	2,848 円	0 円
合計	38,026,967 円	35,239 円	34,905 円
平均	3,168,914 円	2,937 円	2,909 円

(5) 職員外部研修受講状況

研修日	研 修 内 容	受講者名
5 月 27 日	動き出しは本人から 「待つ」 ことが出来たら現場が変わる	糸洲
6 月 12 日	福祉・介護現場におけるカスタマーハラスメント	糸洲
6 月 24 日	身体拘束の禁止虐待防止研修会	稲福
7 月 25 日	倫理及び法令遵守研修会	稲福
9 月 25 日	プライバシー保護研修会	稲福
12 月 3 日	感染対策の基本と実践	糸洲
12 月 24 日	人権研修 認知症の方の意思決定支援	糸洲
12 月 25 日	事故発生予防研修会	稲福
6 月 5 日～ 1 月 15 日	令和 6 年度 市老連在宅編研修会 防災研修・訓練等の普及 (全 5 回)	糸洲

(6) 水質検査結果報告

日付	委託業者名	検査結果	特記
7 月 2 日	中央微生物検査所	異常なし	
12 月 18 日	中央微生物検査所	異常なし	

(7) 職員状況 (令和7年3月末現在)

職 種	常 勤	非常勤
管理者	糸洲 安芸子 (兼務)	
看護師	植野 美恵	廣田 美穂
		藤本 通子
生活相談員	糸洲 安芸子 (兼務)	
	稲福 麻子 (兼務)	
介護職員	稲福 麻子 (兼務)	石田 美和
	関谷 知之	
(計)	4 名	3 名

(8) ヒヤリ・ハット・事故状況

日 付	内 容
4 月 25 日	車への乗り込みの際、職員の言う事を聞かず車椅子で自走し、後方へ転倒する。
6 月 8 日	リフト浴入浴の際、座位が不安定で湯船の中で体制を崩してしまう。
6 月 22 日	降車の際、歩行器のセッティングが不十分で転倒する。
7 月 19 日	駐車場内を歩行器で歩いている際、後方からの声掛けに振り向き、バランスを崩し転倒する。
8 月 6 日	移乗介助時、職員がバランスを崩し、支えきれず転倒する。
9 月 19 日	送迎時、車椅子のアームレストが上がったままだった。
9 月 26 日	送迎車のサイドブレーキを引いておらず、車から離れた際に少しずつ動いてしまう。
9 月 30 日	昼食時に椅子に乗り換える利用者、座布団で高さの調整をするが臀部がだんだん前にずってしまい、落ちそうになる。
10 月 24 日	リフト浴を降ろす際、左マヒの方の手をリフトで挟んでしまう。
12 月 19 日	送迎車の後ろの扉が上がりきっていない状態で利用者をリフトで上げてしまい、扉とリフトが接触する。リフトの操作不能となり、動かない状態で暫く利用者さんを待たせることになる。

(9) ボランティア・実習

(9) ボランティア・実習			
ボランティア			
		コロナ感染予防の為、受け入れなし	
職場体験実習			
11月14日・15日	大阪市立成南中学校	2名	

➤ グループホームめぐみ苑 令和 6 年度 事業報告書

(1) 令和 6 年度の目標に対する評価

目 標	評 価
入居者様の声や希望を拾い上げ、当苑のモットーである「入居者様が好きな事を、好きな時に好きなだけ出来るように努めます。」を実現できるように取り組む。	入居者様に好評の外食行事ですが、コロナウイルス感染症が 5 類になったとはいえお店には行けていませんが、お寿司等のデリバリーを利用し苑では食べる機会の少ない料理を提供したり、季節にちなんだお菓子や行事を行い入居者様に季節感を感じて頂けるように工夫しました。入居者様に日々の生活を穏やかに安心して暮らしていただけるように、入居者様や家族様は勿論、職員間でもコミュニケーションを大切にし、ケアプランに反映していけるように努めています。
認知症対応型施設として専門性の高いサービスを提供する。	今年度はコロナウイルス感染症が 5 類になった事もあり外部研修に積極的に参加しました。まだまだ職員の高齢者の疾病や認知症にも関する知識（精神疾患や薬等）にバラツキや知識不足を感じる事が多いですが、継続して内部・外部の研修を増やせるように図り、職員の知識の向上と意識を高く保てるように努める。
地域に根ざした開かれたグループホームを目指す。	今年度はコロナウイルス感染症が 5 類になった事もあり、対面会議を行う事ができました。今後も交流ができるように図っていきたいと思います。
安全な環境作りを行い防犯意識を日頃から高める。	定期的に全館総合の避難訓練やグループホームのみの避難訓練を行っている。また、入居者様に事故なく安全に暮らしていただける様に月に 1 度、居室やフロア内の環境整備を行い見直しをしている。
感染症の予防・対策。	職員は出勤前に体温測定を行い不織布マスク着用で出勤している。勤務中は手洗い・手指消毒の徹底と、定期的な換気と消毒を行っている。入居者様が過ごすテーブルにはアクリルボードを置き、可能な限り入居者様にも不織布マスクの着用してもらっている。

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
5 月	身体拘束の事例	全員
7 月	介護施設における感染症の発生に対する具体的対応	全員
8 月	BCP について	全員
9 月	スピーチロックと心理的虐待	全員
11 月	介護施設における感染症の発生に対する具体的対応 (冬季に流行する感染症)	全員
12 月	介護施設の事故と実態と対策	全員
1 月	身体拘束ゼロの手引き	全員
2 月	津波想定避難について (BCP)	全員
3 月	人権について	全員

(3) 行事報告

月	行 事	内 容 と 評 価
4 月	お花見	お寿司(鮭やサーモン、いなり寿司や玉子を中心)と茶碗蒸しをテイクアウトし入居者様に提供し、おやつを苑庭の桜を鑑賞しながら「桜餅」を食される。
5 月	節句	端午の節句があったので、おやつに「柏餅」を提供しました。
7 月	外食行事	入居者様からリクエストの多いくら寿司に外食に行きました。海鮮ちらし寿司や茶わん蒸し等、入居者様が好きな物を注文されました。
8 月	納涼祭	苑内で職員と入居者様のみで納涼祭を開催しました。フロアー内を提灯で飾り付けし、お菓子釣りのゲームや焼きそば、クリームあんみつ等を提供しました。
9 月	敬老祝賀会	仕出し弁当を注文しました。おかずの種類も多く入居者様も満足していただきました。おやつに上用饅頭を提供しています。
10 月	外食行事	7月に続いてかつば寿司に行きました。普段、食べる機会が少ない為、入居者様に喜んでいただきました。
12 月	クリスマス会 忘年会	昼食に職員が手作りで「クリームシチュー」「海老ピラフ」「オムレツ」「彩サラダ」を作って提供しボリュームを出しています。おやつは「苺のシ

		ョートケーキ」を提供し、ビンゴ大会を開催しました。
1月	お正月	昼食には毎年恒例のお鍋「寄せ鍋」と「焼き肉」を提供し、夕食は「お節」や「赤飯」「混ぜご飯」を提供しています。
2月	節分	新聞紙を丸めたボールで豆まきをし、おやつに厄除け饅頭とぜんざいを提供しています。
3月	桃の節句	女性入居者と一緒にエレベーター前のお雛様を鑑賞しに行き、おやつに三色団子を提供しています。
全体評価	コロナウイルス感染症が緩和されたとはいえ、気軽に外出をする事が難しいので、入居者様が楽しみにされている食事に関して工夫していきたいと思います。	

(4) 入所者状況（3月末日現在）

性 別		要 介 護 度	
女性	1名	要介護1	4名
男性	7名	要介護2	2名
合計	8名	要介護3	1名
		要介護4	1名

(5) ヒヤリ・ハット報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
男性 男性	6月16日	11時頃	入居者様同士が口論になる。	職員が間に入り仲裁する。
男性 男性	6月25日	9時頃	入居者様同士が口論になる。	職員が間に入り仲裁する。
男性	7月18日	17時頃	歩行時にふらつき、転倒しそうになった。	職員が支え介助した。

(6) 事故報告

区分	日	時	内 容	処 置 対 応
男性	7 月 5 日	17 時頃	薬を重複して服薬する	経過観察し主治医に報告する。
男性	7 月 10 日	19 時頃	就床介助時に、頭部に内出血を発見	痛みの有無の確認し経過観察する。
男性	7 月 15 日	17 時頃	移動時に足が滑り転倒される。	痛みの有無の確認、内出血の有無、バイタル測定をし経過観察する。
男性	8 月 13 日	10 時頃	ベットから滑り落ちて本氏を発見する。	痛みの有無の確認、バイタル測定し経過観察する。
男性	9 月 20 日	11 時頃	本来ならばしなくても良い処置をする。(坐薬の挿肛)	痛みの有無の確認し経過観察する。
男性	10 月 3 日	16 時頃	フローア内に薬が落ちてるのを発見する	主治医に報告し経過観察する。
男性	10 月 15 日	12 時前	起床介助時に、頭部に出血してるかき傷を発見する。	痛みの有無の確認し経過観察する。
男性	10 月 20 日	9 時頃	居室内で床に座り込んで本氏を発見する。	痛みの有無の確認、内出血の有無、バイタル測定をし経過観察する。
男性	10 月 25 日	18 時頃	便秘薬の服薬を忘れる。	次の日に服薬する。
男性 女性	11 月 28 日	9 時頃	フローア内に薬が落ちてるのを発見する	主治医に報告し経過観察する。
女性	12 月 7 日	14 時過ぎ	居室内に薬が落ちてるのを発見する	主治医に報告し経過観察する。
男性	12 月 20 日	8 時	椅子から転倒される。	痛みの有無の確認、内出血の有無、バイタル測定をし経過観察する。
男性	12 月 29 日	12 時過ぎ	フローア内に薬が落ちてるのを発見する	主治医に報告し経過観察する。
男性	1 月 21 日	12 時過ぎ	違う入居者様の薬を服薬する	主治医に報告し経過観察する。
女性	2 月 17 日	12 時過ぎ	フローア内に薬が落ちてるのを発見する	主治医に報告し経過観察する。
不明	3 月 28 日	18 時前	洗面所の排水溝に薬が 1 錠落ちているのを発見する。	経過観察する。
女性	3 月 31 日	13 時前	口に 1 度入れた薬を吐き出し服薬拒否する。	主治医に報告し経過観察する

(7) 職員状況 (令和 6 年 3 月現在)

雇用	職 務	氏 名	資 格
常勤	管理者	山田 あき	介護福祉士
	介護計画担当者	中尾 和代	介護福祉士・介護支援専門員
	介護職員	神長 貴子	介護福祉士
	介護職員	武田 節子	介護福祉士
	介護職員	大野 博	実務者研修
計	(5 名)		

雇用	職 務	氏 名	資 格
非常勤	介護職員	梅谷 陽子	介護福祉士
	介護職員	山内 清美	介護福祉士
	介護職員	中村 浩	初任者研修
	夜勤専従	10 名	介護福祉士・看護師
	(13 人)		

➤ ヘルパーステーション いこい 令和6年度 事業報告書

(1) 令和6年度の目標に対する評価

目 標	評 価
※利用者、売上金額の増加	利用者、売上金額 共に目標に達せず
ヘルパーのスキルアップ	11/9 土) 事業所にて研修 利用者について意見交換会 災害時の対応について・
※常勤・非常勤ヘルパーの確保	常勤 採用無し 名退職 常勤 採用なし (内事務職1名事務局へ移動 非常勤(パート含め) 採用1名

(2) 職員研修受講状況

研 修 日	研 修 内 容	受講者
11月21日	事例に学ぶ情報連携の仕組み化のポイント	木村
月 日		

(3) 苦情報告

日 付	苦 情 内 容	対応者	対 応 結 果
9月4日	サービス時間より早く来た	木村	H・H 確認・注意
10月11日	希望の商品がない時に勝手に違う商品を買ってきた	木村	H・H 確認・変更
12月22日	ヘルパーに対し文句を言ったり、無視をされる。	木村	CM 連絡確認・変更

(4) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	令和6年12月12日
訪問調査日	
公 表 日	令和6年12月26日
更 新 日	

(5) 利用者要介護度別月次推移表

区 分 月	要 支 援		要 介 護					利用 者 合 計 数	新 規	中 止
	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5			
4月	3	7	9	9	6	3	2	39	0	1
5月	3	7	9	9	6	2	3	39	0	1
6月	2	7	9	10	6	1	3	38	0	0
7月	3	8	9	11	6	1	3	41	3	2
8月	3	9	9	11	5	1	3	41	1	0
9月	3	9	9	11	6	2	2	42	1	2
10月	3	9	9	8	5	2	2	38	0	1
11月	4	9	9	7	5	2	2	38	2	2
12月	2	9	9	7	6	2	2	37	2	3
1月	3	8	9	6	8	2	2	38	1	0
2月	3	8	9	6	7	2	2	37	0	1
3月	3	7	9	7	7	2	1	36	2	4
計										
比 率 (%)										
※ (新規・中止は、要支援1・要支援2・要介護に変更になった利用者も含む)										

※ 利用者様 要介護度別グラフ (構成比率)

(6) 介護報酬月次推移表

月	介護報酬 (万円)	月	介護報酬 (万円)
4月	222.7 万円	10月	220.2 万円
5月	231.1 万円	11月	208.1 万円
6月	236.0 万円	12月	200.5 万円
7月	242.2 万円	1月	242.8 万円
8月	243.6 万円	2月	183.0 万円
9月	230.5 万円	3月	万円
		合計	万円

(7) 職員状況 (令和6年3月現在)

雇用	職 務	氏 名	資 格
常勤	所長	永田 明彦	ヘルパー1級
	サービス提供責任者		
	管理者	木村 麻由美	介護福祉士・ヘルパー2級
	サービス提供責任者 (兼務)		
	訪問介護員	中川 幸枝	ヘルパー1級
計 (3名)			

雇用	職 務	氏 名	資 格
非常勤	訪問介護員 (登録)	竹下 愛子	ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	子浦 かめよ	ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	吉崎 みさゑ	介護福祉士・ヘルパー2級
	訪問介護員 (登録)	中野 加代美	ヘルパー2級
計 (4名)			

Ⅱ 天下茶屋地域在宅サービスステーション のぞみ

➤ 在宅介護支援センター事業のぞみ 令和6年度 事業報告書

(1) 在宅介護支援センター専任職員

氏名 佐藤 志保理

(2) 年間相談活動実績 (R6.4.1 現在)

相 談 内 容	相談件数
経済・生活問題	169 件
福祉サービスに関する事	669 件
保健・医療サービスに関する事	59 件
介護サービスに関する事	212 件
生きがいづくり	168 件
その他	5 件
(相談合計件数)	1282 件
(相談実人員)	149 人

(3) 相談方法

1)訪問	621 件
2)電話	671 件
3)来所	109 件
4)その他	2 件

(4) 介護予防普及のための教室・講演会

名 称	対象	実施回数
いきいき百歳体操 &歌ダン (主催)	地域高齢者、ネットワーク委員、西成区社協 生活支援コーディネーター、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	68 回
ポッチャ (主催)	地域高齢者、地域ボランティア、西成区社協 生活支援コーディネーター、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	20 回
手作り倶楽部倶部 (主催)	地域高齢者、西成区社協 生活支援コーディネーター、見守り相談室、西成区オレンジチーム、東部地域包括支援センター、山王ランチ、天下茶屋ランチ	16 回

いきいき元気教室 (参加)	地域高齢者、ネットワーク委員、西成区社協、東部地域包括支援センター、天下茶屋ランチ	5回
------------------	---	----

東部包括 フリースクール (参加)	地域高齢者、西成区社協 生活支援コーディネーター、見守り相談室、西成区オレンジチーム、東部地域包括支援センター、山王ランチ、天下茶屋ランチ	10回
-------------------------	---	-----

(5) 大阪市ひとり暮らし等高齢者支援事業

0件 登録

(6) 勉強会・連絡会・在介啓発活動等

包括・ランチ連絡会議 11回	ネットワーク委員会の会合 2回	民生委員協議会 1回
ほっと！ネット西成連絡会議 3回	地域ケア会議 3回	地域ケア会議以外の個別ケース会議 0回
西成区地域包括支援センター 運営協議会 3回		

(7) ランチ必須研修受講状況

研修日	研 修 内 容
R6.8.29	地域ケア会議の効果的展開
R6.9.13	認知症対応力向上研修～今さら聞けない後見制度
R6.9.30	成年後見制度利用促進研修 基礎編
R5.11.20	精神疾患のある人への理解と支援
R5.12.2	精神疾患への理解と支援
R6.1.24	セルフネグレクトの支援
R6.3.18	成年後見制度利用促進研修 応用編成年後見制度利用促進研修 基礎編

(8) まとめ

- ・地域包括、老人会などの地域役員、大家さん、ケースワーカーなど多職種と連携し、地域住民へ総合相談窓口の業務を遂行した。また、総合相談窓口の業務内容の周知活動も行った。
- ・困難ケースについては、地域包括を始め、訪問医療、訪問看護、訪問介護の各事業所と協力し、現状の改善、社会復帰を目指し対応した。
- ・地域住民の居場所作りと共に、介護予防に力を入れ、歌&ダン、手作り倶楽部などを開始し、参加者の増加、参加定着を促した。

➤ 居宅介護支援事業 のぞみ 令和 6 年度 事業報告書

(1) 職員及び担当件数状況 (R7.3.31 現在)

介護支援専門員 (2 名)				
職員名		津島 礼司	谷川 裕実	
介護給付 (件)	件中	27 件	27 件	
予防給付 (件)	件中	8 件	10 件	

(2) 居宅介護支援介護給付費月次推移表 (※は見込み)

年・月	介 護 給 付		予 防 給 付	
	件	円	件	円
R6 年 4 月	57 件	786,077 円	20 件	86,500 円
R6 年 5 月	60 件	837,428 円	18 件	77,850 円
R6 年 6 月	58 件	794,094 円	18 件	77,850 円
R6 年 7 月	59 件	809,506 円	18 件	77,850 円
R6 年 8 月	56 件	762,992 円	18 件	77,850 円
R6 年 9 月	59 件	808,394 円	17 件	73,525 円
R6 年 10 月	58 件	798,542 円	16 件	69,200 円
R6 年 11 月	54 件	735,226 円	15 件	64,875 円
R6 年 12 月	61 件	848,392 円	14 件	64,787 円
R7 年 1 月	54 件	749,682 円	14 件	63,486 円
R7 年 2 月	54 件	808,150 円	14 件	60,550 円
※R7 年 3 月	51 件	705,948 円	17 件	103,571 円
計	件	9,444,431 円	件	897,894 円

(3) 利用契約者数の状況

年 月	新規契約 () は 予防	予防給付へ 移行 (原案作成)	契 約 終 了			
			利用中止	居宅介護 支援事業者 等変更	転居・施設等 入所・長期 入院	死 亡
R6 年 4 月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R6 年 5 月	0 (0)	0	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R6 年 6 月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R6 年 7 月	2 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
R6 年 8 月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
R6 年 9 月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R6 年 10 月	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
R6 年 11 月	1 (1)	0	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (1)
R6 年 12 月	1 (0)	0	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
R7 年 1 月	1 (1)	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
R7 年 2 月	1 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
R7 年 3 月	0 (2)	1	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
合 計	8 (4)	1	1 (2)	0 (1)	6 (1)	7 (2)

(4) 職員外部研修受講状況

日 時	研修内容	受講者名
令和 6 年 5 月 15 日	令和 6 年度介護保険改正のポイント	谷川 裕実
令和 6 年 5 月 18 日	エンドオブライフケア	津島 礼司、谷川 裕実
令和 6 年 6 月 12 日	福祉現場におけるカスタマーハラスメント	津島 礼司
令和 6 年 6 月 14 日	ケアマネジメントにおける身体拘束節の理解と実現	津島 礼司
令和 6 年 6 月 20 日	人権研修及び感染症研修	谷川 裕実
令和 6 年 7 月 26 日	ケアマネ業務の ICT 化推進で業務の効率化を目指そう	津島 礼司
令和 6 年 8 月 16 日	介護支援専門員がヤングケアラーと出会ったとき	谷川 裕実
令和 6 年 9 月 14 日	退院時の栄養管理の連携方法、在宅での栄養管理の方法	津島 礼司
令和 6 年 11 月 6 日	リスクマネジメントの基本的理解と福祉職員の心構え	津島 礼司
令和 6 年 11 月 8 日	高齢化を支える医療	谷川 裕実

(5) 各連絡会・勉強会参加状況

日 時	勉強会等内容	出席者名
R6 年 6 月 26 日	自立支援型ケアマネジメント検討会議	谷川 裕実
R6 年 10 月 30 日	中ブロック勉強会 「西成の部落解放運動とまちづくり」	谷川 裕実

(6) 指導及び監査

日 時	名 称	出席者名
R6 年 7 月 18 日	大阪市集団指導（オンライン指導）	津島 礼司

(7) 介護サービス情報の公表

指定調査機関	大阪市介護サービス情報公表センター
報告の提出期限	R6 年 12 月 26 日
訪問調査日	無し
公 表 日	R7 年 1 月 17 日

(8) 特定事業所集中減算状況

前期 (3 月～8 月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会	(社) 慈 福 会	株式会社トーク 21
		ヘルパーステーション いこい	デイサービスめぐみ	株式会社トーク 21
			デイサービスのぞみ	
	紹介率	49.4 %	77.7 %	22.1 %
後期 (9 月～2 月)	摘 要	訪問介護	通所介護	福祉用具貸与
	事業所名	(社) 慈 福 会	(社) 慈 福 会	株式会社トーク 21
		ヘルパーステーション いこい	デイサービスめぐみ	株式会社トーク 21
			デイサービスのぞみ	
	紹介率	74.7 %	75.6 %	20.7 %

(9) まとめ

- ・担当ケアマネジャーの不在時でも、他のケアマネジャーで対応できるように情報共有し、利用者を支援できるような体制を整備した。
- ・外部研修の参加については、主にオンラインで開催される研修を優先して選び受講するようにした。それにより、本来であれば会場に移動するために要していた時間を業務に充てることができるようになったため、研修参加のための業務調整などの負担は減っている。
- ・支援困難事例にも対応できるよう、日頃より区役所、地域包括支援センター、ブランチ、医療機関、その他事業所等の多職種と密な連携を図っている。

事業報告書

(1) 令和 6 年度 年間目標と評価

目標	評価
感染症の予防	送迎中や施設内の消毒、換気をこまめに行うことができた 来所前の発熱があれば受診を促した。
利用者数の確保と維持	前半は利用者数が確保できたが、後半は入院、施設入所で利用者数の 減少となった為お試し利用からの新規利用をスムーズに行うことで増員を 目指す
職員の質の向上	常勤、非常勤問わず、同じ声掛けやサービスが提供できるようにこまめに 申し送りを行っていた。
研修への参加	オンライン研修に参加することで、他事業所との違いに気が付く事ができ た 今後も全員参加できるように目指す
無事故を目指す	大きな事故はないが、ふらつき等の打撲がみられた。職員間の声掛けを 徹底する

(2) デイサービス利用者月次推移状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比率
要支援1	14	14	13	14	11	7	8	8	8	8	6	9	120	2%
要支援2	18	9	15	26	27	24	27	27	23	21	23	24	264	5%
要介護1	49	50	58	21	25	15	19	23	26	30	29	33	378	7%
要介護2	144	140	135	161	152	137	175	148	112	106	92	98	1600	31%
要介護3	92	88	94	98	86	73	66	65	99	102	104	116	1083	21%
要介護4	71	83	54	55	56	62	60	55	58	60	51	54	719	14%
要介護5	60	72	65	91	100	97	108	91	83	82	89	92	1030	20%
日数													合計人数	5194
月平均	17.3	16.9	17.4	17.3	16.9	16.6	17.2	17.5	17.8	17.1	16.4	16.4	年間平均	

		行事内容と評価	費用	担当者
4月	花見	2階にて桜で写真撮影。水ようかんを提供し、春を感じていただく	¥2,880	柴田
5月	ポツツチャ	3人一組となりトーナメント式でポツツチャを楽しむ	¥950	柴田
6月	工作・パフェ	てるてる坊主を工作。おやつはフルーツパフェを提供する	¥2,677	柴田
7月	わらびもち	手作りのわらび餅を食べて涼しさをかんじていただく	¥1,234	柴田
8月	壁面飾り	「海水浴」をテーマに工作し、シューアイスを提供	¥1,425	柴田
9月	ミニ盆踊り	皆で輪になり法被で盆踊りを開催。多いに楽しんでいただけた	¥1,244	尾崎
10月	紅葉貼り絵と焼き芋	デイ玄関に展示するもみじを工作。屋台で焼き芋を提供。	¥3,542	柴田
11月	喫茶 ぜんざい	秋の工作とぜんざいで秋を感じていただく	¥3,511	徐
12月	クリスマス会	クリスマス壁面かざりと大きなシュークリームで楽しむ	¥3,752	柴田
1月	書初め	書初めを行い、水ようかんを提供	¥2,177	柴田
2月	節分	職員が鬼に変装し新聞で作成した豆まきの風習を楽しめた	¥2,646	柴田
3月	雛飾り・工作	お雛様を皆で飾り、工作、ひなあられ	¥2,107	柴田
予算			合計費用	¥28,145

(4) 介護報酬・行事費用・おやつ代・その他の費用(※3月分介護報酬は見込み)

	介護報酬	行事費用	おやつ代 その他
4月	¥3,424,653	¥2,880	¥6,505
5月	¥3,270,619	¥950	¥0
6月	¥3,246,438	¥2,677	¥5,454
7月	¥3,430,480	¥1,234	¥0
8月	¥3,453,185	¥1,425	¥8,779
9月	¥3,162,179	¥1,244	¥7,121
10月	¥3,076,886	¥3,542	¥0
11月	¥3,318,888	¥3,511	¥6,865
12月	¥3,376,502	¥3,752	¥0
1月	¥3,171,649	¥2,177	¥6,645
2月	¥3,059,510	¥2,646	¥0
※3月	¥2,986,464	¥2,107	
合計	¥38,977,453	¥28,145	¥41,369

(5) 職員外部研修受講状況

研修日	研修内容	受講者氏名	研修日	内部研修内容	受講者氏名
6月24日	身体拘束	柴田かおる	5月	倫理 プライバシー	職員全員
7月25日	倫理 法令順守	柴田かおる	7月	ハラスメント	職員全員
9月25日	プライバシー保護	柴田かおる	8月	高齢者虐待防止 身体拘束	職員全員
			9月	BPC	職員全員
			12月	感染症	職員全員
			1月	認知症	職員全員
			3月	虐待防止	職員全員

(6) 職員状況(令和 年3月末現在)

職種	常勤	非常勤
管理者	永田 千佳	
看護師		中村 裕美 上野 佐知子
生活相談員	永田 千佳(兼務) 牧 道(兼務)	
介護職員	柴田 かおる 徐 碩	牧 道 中村 浩 前田 甚一 熊野 十四弥
合計人数	名	名

(7) 水質検査結果報告

日付	委託業者名	検査結果
6月5日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
12月4日	中央微生物検査所	10cfu/100ml未満
その他特記		

(8) ひやり・はっと・事故報告書

日付	内容	日付	内容
4月24日	O氏着脱室でズボンを脱ぐ際、中腰から床へ尻もち転倒	2月5日	O氏行事中、豆まきの豆を拾う際、尻もち転倒
8月1日	S氏通常1錠のところ、間違えて2錠服用させてしまう	3月13日	職員のミスにより携帯電話2台水没させてしまう
10月31日	M氏着脱室にてリフトチェアーへの移乗介助中3名にもかかわらず床へ転落		
11月7日	T氏トイレに行かれ出てきた際に額部にコブ発見 手すりにぶつかったとのこと		
12月13日	H氏のぞみ裏庭線路内に侵入していた		

(9) ボランティア・実習生状況

[illegible]

令和6年度 社会福祉法人慈福会 事務局 事務報告

1、法人の概要 (沿革)

①平成9年11月1日	基本金1,000千円 運用資金94,983千円をもって法人設立委員会が設置された。
②平成9年11月15日	施設建設に向けて、準備委員会が設置された。 設立地を大阪市西成区千本北2丁目12番地2号として法人申請を届け出た。
③平成10年3月20日	大阪市より法人認可がされ、同23日設立した。
④平成10年5月16日	第1回法人理事会が開催された。 同日、デイサービス事業、グループホーム事業等の具体的な計画が示され、理事会で承認された。
⑤平成11年3月18日	成南地域の施設が竣工し「めぐみ」と命名された。
⑥平成11年3月25日	同 グループホーム「めぐみ苑」の入居が始まった。
⑦平成11年4月1日	同 デイサービス「めぐみ」が事業開始された。
⑧平成12年12月22日	2か所目の施設が天下茶屋地域で竣工し「のぞみ」と命名された。
⑨平成13年1月4日	同 デイサービス「のぞみ」が事業開始された。 同 在宅介護支援事業として配食サービスを開始した。
⑩平成14年4月1日	ヘルパーステーション「いこい」が事業開始された。
⑪平成22年10月21日	ヘルパーステーション「いこい」が天下茶屋地域へ引っ越した。
⑫平成26年12月1日	慈福会のホームページを開いた。

2、理事等の役員及び職員 (令和6年3月末現在)

理事長 浦上理恵

常務理事 山田愛子

理事 魚本利彦、倉知大、山田泰平、小泉和史、中井俊仁

監事 黒田全紀、原正一

評議員 中西時夫、森川博、児玉富士夫、松代いさ子、河脇郁子、吉田玲子
林由香里、福本康行、

評議員選任解任員 奥野喜與久、石水晋、井塚弥生

◎令和6年5月 理事会、評議員会開催

(事業報告、決算についての認定)

◎令和7年3月 理事会、評議員会開催

(事業計画、予算についての認定)

3、苦情解決規程に定める第三者委員

成南地域サービスステーション 中西 時夫 (千本地区民生児童委員長)

天下茶屋地域サービスステーション 井端 貞子(聖天下1 南町会女性副部長)

4、職 員 構 成

施設長 2 名、所長 1 名、管理者 6 名、相談員 2 名

常勤職員 13 名、事務職員 2 名、非常勤職員 20 名、夜勤専従 10 名

資格別 介護福祉士 13 名、主任介護支援専門員 3 名、介護支援専門員 9 名、
看護師・准看護師 14 名、社会福祉士 3 名、サービス提供責任者 2 名、
社会福祉主事 1 名、ホームヘルパー 1 級 2 名、ホームヘルパー 2 級 16 名、
認知症介護基礎研修修了 3 名、シルバー人材センター 1 名
上記人数は職種兼務や複数資格取得者がいます。

職員合計 56 名

5、事務業務の概要

事務業務を総務、人事、庶務、経理に分化して事務効率の向上と専門性を高めたことにより、今年度も、提出書類の申請、保管書類、公文書管理等の合理性を継続して発揮することができました。

(介護職員処遇改善加算届)

◎平成 21 年度より、介護職員の処遇改善の取組として、平成 23 年度まで実施していた「介護職員処遇改善交付金」の相当分を介護報酬に円滑に移行するために、厚生労働省の方で経過的な取扱いとして、介護職員処遇改善加算を創設された。当法人は賃金改善等の実施を令和 6 年度も継続し処遇改善加算届を大阪市へ申請いたしました。

(総務関係)

◎労働保険確定申告・社会保険算定基礎届・年末調整及び給与支払報告・36 協定届
社会保険・労働保険各種給付申請、大阪市大阪府補助金申請等を行いました。

(施設管理関係)

◎年 2 回の消防訓練の実施・消防設備点検及び特殊建築物整備検査報告を行いました。

(経理関係)

◎経理事務管理については、引き続き日本経営に委託し、決算書類の制度化、簡素化に努めました。又、新会計基準に移行済みです。

◎社会福祉施設等に対する物価高騰対応支援金事業にかかる交付申請

◎大阪府介護人材確保・職場環境改善等事業補助金の申請

まとめ

令和 6 年度も、様々な部署、個所で業務が円滑に遂行できるよう見直しや改善を進めてきました。

今後も、介護保険法改正に伴う就業体制の確立、ランニングコスト・設備改修等のイニシャルコストについて、財源の確保も含めて、計画的に、その準備を怠らないようにしたいと考えています。